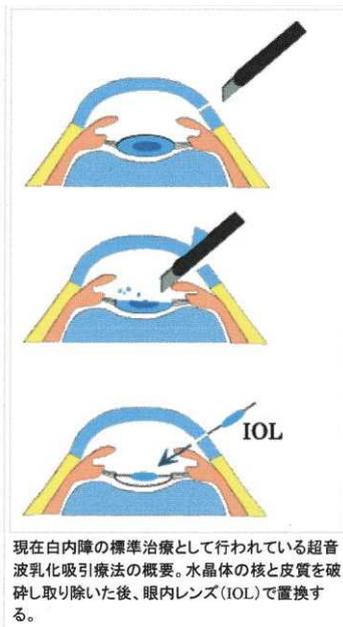


水晶体は、前囊という薄い膜に包まれ、その中に皮質と核がある構造となっている。皮質の白内障はくさび形に白く濁り、

それが徐々に拡大する。核の白内障は徐々に黄色く濁り硬くなって光が通りにくくなる。核の白内障は、近視が進むことが知られている。

白内障の治療

白内障の治療には、点眼薬による治療と手術があるが、点眼薬は進行を抑えるのが目的で、水晶体の濁りを取ることはできない。治療としては手術が行われることが一般的だ。



現在白内障の標準治療として行われている超音波乳化吸引療法の概要。水晶体の核と皮質を破碎し取り除いた後、眼内レンズ(IOL)で置換する。

眼内レンズを挿入するためのインジェクターを使用する方法が開発され、切開創の幅も3mm以下で行われている。手術時間は、10分～15分位で術後も縫合は行わない、無縫合手術が一般的だ。

眼内レンズの選び方

白内障の手術で使われる眼内レンズは、基本的に1カ所だけにピントが合う単焦点レンズだ。

現在は手術時間の短縮・麻酔薬使用方法の進歩からリドカインなどを用いて点眼麻酔が可能となり簡便な方法がとられている。

手術は、白濁した水晶体の核を超音波で乳化破碎して吸引除去し、皮質の処理を行った上で眼内レンズを挿入する。今日では眼内レンズは折りたたんだり、

「遠く」「中間」「近く」に3つに分けどこが



ハッキリ見える眼内レンズにするかを選ぶ。例えば、近くにピントが合うレンズを選んだ場合、中間の距離や遠くのものを見るときには、眼鏡が必要となる。

多焦点レンズ

	単焦点レンズ	多焦点レンズ
長所	●見え方の質が良い ●健康保険が適用	●2か所に焦点が合う
短所	●眼鏡が必要	●ピントが甘い ●暗いところで見えない ●見え方になじまない ●費用が高い

「遠くと近く」「遠くと中間」というように2カ所にピントが合う

眼内レンズ。単焦点レンズは健康保険が適用されるが、多焦点レンズは自費診療（保険適用外）となる。

太極拳の技 連載12

はっかくりょうし 白鶴亮翅(03式)

白鶴が羽を広げ、飛び立とうとする動きをイメージする。



- ①右足を半歩前へ寄せ
- ②右足に体重をのせ、左つま先をつけ、右手を上げていく
- ③右手のひらを上へ、左手のひらを下に向けて下へ両手を開いていく

型は鶴と蛇の闘いから考案されたとも言われている。